

議員提出議案第 1 1 号

北朝鮮によって拉致されている全ての日本人の速やかな救出を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第 1 3 条第 2 項の規定により提出します。

令和 7 年 3 月 2 4 日

芦屋市議会議長 帰 山 和 也 様

提出者	あしや政風会	川 上 あさえ
	日本共産党	川 島 あゆみ
	芦屋市議会議員団	
	公 明 党	田 原 俊 彦
	日本維新の会	橋 本 隆
	至 誠 会	中 島 健 一
	会派に属さない議員	山 口 みさえ
	”	中 村 亮 介
	”	たかおか 知子

提案理由

北朝鮮による日本人拉致被害者の救出に向け、国及び国会に取組を要望するため。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、外務大臣、防衛大臣、
拉致問題担当大臣、国家公安委員会委員長、警察庁長官

北朝鮮によって拉致されている全ての日本人の速やかな救出を求める意見書

北朝鮮による拉致被害者は、政府認定の17名のほか、拉致の疑いが排除できない特定失踪者と言われる方々が相当数存在しているが、平成14年10月に5名の方々の帰国が実現し、平成16年5月と7月にその御家族が帰国して以来、何ら進展が見られていない。

北朝鮮による日本人拉致問題は、我が国に対する重大な主権侵害であるとともに、決して許すことのできない人権侵害である。北朝鮮によって拉致された日本人の多くは未だ帰国できない状況にあるが、拉致被害者の帰国を待ち望む御家族の高齢化が進み、遂には再会が叶わず亡くなる事例も出ている。神戸市民である有本恵子さんの母・有本嘉代子さんは令和2年2月3日に、父・有本明弘さんは本年2月15日に、横田めぐみさんの父・横田滋さんが令和2年6月5日にそれぞれ最愛の家族との再会を果たすことなく逝去された。この悲惨な現実を直視し、我が国としては一刻も早く北朝鮮から全ての日本人拉致被害者を救出しなければならない。

また、警察庁によれば、田中実さんは昭和53年6月、北朝鮮の指示を受けた神戸市東灘区の勤務先飲食店の店主の巧妙な誘いによって海外へ連れ出され、その後北朝鮮に送り込まれたとされている。拉致事件が身近な場所で発生した事実を極めて深刻に捉え、芦屋市としても国や兵庫県と連携し、拉致問題の早期解決に向けた啓発活動等をさらに強化し、全力で取り組むことを求める。

以上を踏まえて、芦屋市議会は、国会及び政府に対し、北朝鮮から全ての日本人拉致被害者を救出するとともに、今後二度とこのような悲劇が起こらないよう、国際社会との連携の強化や必要な法的整備をはじめとする再発防止に全力で取り組むよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

芦屋市議会